

平成29年宇治田原町予算特別委員会

平成29年5月17日

午前10時30分開議

議事日程(第1号)

日程第1 議案第28号 平成29年度宇治田原町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)

1. 出席委員

委員長	11番	谷口 整	委員
副委員長	5番	浅田 晃弘	委員
	1番	谷口 重和	委員
	2番	松本 健治	委員
	3番	垣内 秋弘	委員
	4番	馬場 哉	委員
	6番	原田 周一	委員
	7番	山本 精	委員
	8番	藤本 英樹	委員
	9番	山内 実貴子	委員
	10番	今西 久美子	委員
	12番	田中 修	委員

1. 欠席委員 なし

1. 宇治田原町議会委員会条例第18条の規定により会議事件の説明のため出席を求めるものは次のとおりである。

町 長	西谷 信夫 君
副 町 長	田中 雅和 君
総 務 部 長	久野村 観光 君
健康福祉部長	光嶋 隆 君
企画財政課長	奥谷 明 君
企画財政課課長補佐	矢野 里志 君

介 護 医 療 課 長 廣 島 照 美 君
介 護 医 療 課 課 長 補 佐 塚 本 吏 君

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事 務 局 長 村 山 和 弘 君
庶 務 係 長 岡 崎 貴 子 君

開 会 午前10時30分

○委員長（谷口 整） 皆さん、改めましておはようございます。

第1回臨時会に引き続き、予算特別委員会を招集いたしましたところ、皆様方にはご多忙のところご出席をいただきましてありがとうございます。

本日の委員会は、先ほどの会議におきまして上程され、本委員会に付託されました議案第28号、平成29年度宇治田原町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）につきまして、お手元に配付いたしております日程表により審査を行います。

本日の委員会において、不適切な発言等がありました場合には、委員長において精査を行うことといたします。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（谷口 整） ありがとうございます。

それでは、ここで町長からご挨拶をお受けしたいと思います。町長。

○町長（西谷信夫） 改めまして、おはようございます。

平成29年第1回の臨時会、本会議に引き続きまして予算特別委員会を開催していただきまして、大変ご苦労さまでございます。また、本委員会では谷口委員長様、また浅田副委員長様には大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本特別委員会に付託いただきました議案は、議案第28号、平成29年度宇治田原町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）の1議案でございます。後ほど担当課長より説明をさせていただきますが、どうかよろしくご審議、ご審査を賜りまして、ご可決いただきますようお願いを申し上げます。開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○委員長（谷口 整） ありがとうございます。

ただいまの出席委員は12名でございます。定足数に達しておりますので、直ちに本日の予算特別委員会を開きます。

◎議案第28号の説明、質疑、討論、採決

○委員長（谷口 整） これより議事に入ります。日程第1、議案第28号を議題といたします。

それでは、当局よりの説明を求めます。廣島課長。

○介護医療課長（廣島照美） それでは、議案第28号、平成29年度宇治田原町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）についてご説明申し上げます。

平成28年度の国民健康保険特別会計におきまして収支不足が生じることとなりましたので、平成29年度の予算を繰上充用させていただきたく、補正をお願いするものでございます。

まず、議案第28号、平成29年度宇治田原町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）をごらんください。

補正額は、前年度繰上充用金として2,540万円を追加し、補正後の予算総額を13億7,172万6,000円とするものでございます。

詳細につきましては、A4のホチキスどめ2枚つづりの議案第28号資料、平成28年度国民健康保険特別会計（事業勘定）予算決算見込み額概要をごらんください。

決算額の推移の表、平成28年度見込みの欄をごらんください。平成29年4月末現在で見込んでいるものでございます。

まず、歳入額は13億4,001万6,000円、歳出額は13億6,541万6,000円で、歳入歳出差し引きマイナス2,540万円。その下、前年度の繰上充用額ですが、平成28年度から27年度へ5,920万2,441円を充用しております。これを差し引きしますと、実質収支額3,380万2,441円となり、平成28年度の決算見込み額は約3,380万円の単年度黒字となり、累積赤字額は2,540万円に減少する見込みでございます。

単年度黒字が見込まれる主な要因としましては、保険給付費が前年度から減少したこと、共同事業交付金が拠出金を大きく上回ったこと、また、療養給付費等交付金が大きく交付されたこと、平成28年度保険税率等改定による保険税収納額の増加及び保険税率等改定幅抑制に係る臨時財政支援繰入金、こういったことによるものでございます。

詳細につきましては、2ページ以降をごらんください。

まず、2ページ、歳入科目に係る主な特記事項としまして、国民健康保険税につきましては、平成28年度税率改定により保険税収納額現年度分が前年度から約940万円の増額となる見込みでございます。

次に、退職等被保険者に係る療養給付費等交付金については、退職者医療制度の段階的廃止に伴う退職被保険者数の減少により、前年度から交付金も減少していますが、平成28年度交付額は約3,825万円です。しかしながら、退職被保険者に係る保険給付費を上回っておりまして歳入超過となり、約1,668万円、平成29年度に精算により返還予定となります。

次、3ページをごらんください。

共同事業交付金につきましては、高額な医療費の発生による国保財政に与える影響を緩和するため、市町村相互の拠出金により運用されているものでございますが、保険給付費の減少に伴い交付金は減少していますが、約2,031万円交付金が拠出金を上回って交付されております。

歳入につきましては、以上のような状況でございます。

次に、歳出科目に係る主な特記事項としまして、保険給付費の状況でございますが、昨年度の厚生年金・健康保険適用拡大による被保険者数の減少等により、療養給付費、療養費は減少しております。療養給付費のうち特に入院分が保険者負担額月平均で平成27年度と比較しまして約430万円減少しております。年額にしますと5,160万円ほどになります。

保険給付費の総額としましては、平成27年度の総額が8億3,005万2,638円に対しまして、平成28年度の見込みは7億9,610万4,913円ということで、約3,394万円減少しています。

以上のようなことから単年度黒字となりまして、累積赤字が減少する見込みとなりました。以上でございます。

○委員長（谷口 整） 説明が終わりましたので、これより質疑に移ります。

質疑のある方は挙手を願います。ございませんでしょうか。今西委員。

○委員（今西久美子） 今、ご説明をいただきました。

この間、繰上充用が毎年当たり前のようになっていて、赤字が続いているということなんですが、今回については、近年でも少ない充用額で済むということで、まだいいのかなとは思いますが、ちょっと中身を見てみますと、先ほどご説明がありましたように、保険給付費、これが前年度に比べて減少したというご報告でした。

ただ、減少したといっても、27年度は非常に突出して大きかったので、本当にこれをもって減少したと言えるのかなとちょっと思うんですが、26年度以前を見てみますと、やはり比べると非常に高額になっているということもあります。

文教の中でも申し上げていたかと思うんですが、その辺の詳しい病気とか、薬価も含めてですけれども、一体どうしてこれだけの保険給付費が必要となっているのか、どうしてこんなにふえているのかということについて、前年度よりは減っているけれども、高額になっているのかということら辺を分析されたのかどうか。されたのであったらどのように分析をされたのか、ちょっとご説明をいただけたらと思います。

○委員長（谷口 整） 廣島課長。

○介護医療課長（廣島照美） 平成27年度と平成28年度を比較しますと、特に入院分が大きく減少しております、分析しますと、高額なレセプトで比較分析させていただきました。

分析しますと、30万点以上のレセプトでは、平成27年度5件あったものが、平成28年度2件に減っております、そちらにつきましては循環器の疾患が減少しております。

また、20万点以上のレセプトでは、平成27年度は19件あったものが、平成28年度は10件に減っております、主には新生物、がんの疾病によるものが大きく減少しております。

こういったところを見ますと、検診の受診による疾病の早期発見、早期治療ですとか、生活習慣の改善支援として、保健師や看護師のほうで戸別訪問しております、健康相談や早期の医療機関の受診等を勧奨しまして、重症化を防いだり、取り組んできたものがこういったことにつながっていると考えられるところではございます。以上です。

○委員長（谷口 整） 今西委員。

○委員（今西久美子） 平成27年と28年を比べていただいたということですが、この間の医療費高騰について、その中身についての分析というのはされていませんか、ようか。

例えば、高額療養費などについては、27年度も28年度も余り変わっておりませんし、26年度から比べてもかなり高額となっております。

例えば、がんの薬なんかは本当に高いとかいうことは、医療の進歩というところもあるかもしれないんですけども、宇治田原の町民の皆さんがどういう病気が多くて、どういう手だてを打てばその病気を回避できるのか、予防できるのかというようなところまで、私はきちんと分析をするべきやというふうに思うんです。

担当課独自で、もちろん専門でないのも無理であれば、専門家に依頼してでもその辺の分析をしっかりとやって、その上で対策をとっていくことが医療費抑制、住民の皆さんの健康を守るということにつながるんじゃないかと思うんですけども、そのあたりはいかがでしょうか。

○委員長（谷口 整） 廣島課長。

○介護医療課長（廣島照美） 今、今西委員がおっしゃったようなことを、また今後も分析をしていきまして、その分析に基づいてまた保険事業のほう、いろいろと取り組みをしてみたいと考えますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（谷口 整） 今西委員。

○委員（今西久美子） 健全化計画も立てて頑張っていたらというの、重々承知しております。

ただ、計画値との差もこれだけあるということについては、やはりどこが問題なのかというところ辺りがきちっと本当に把握できていなんじゃないかなというふうにも思いますので、その辺については今後やっていくというご答弁もありましたけれども、本当に専門家の意見をぜひとも聞いていただきたいというふうに要望しておきます。以上です。

○委員長（谷口 整） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（谷口 整） ほかにないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（谷口 整） ないようでございますので、これで討論を終わります。

これより議案第28号の採決に入ります。原案に賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○委員長（谷口 整） 挙手全員であります。よって議案第28号、平成29年度宇治田原町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、今回予算特別委員会に付託されました議案の審査を終了いたします。この審査の結果につきましては、予算特別委員会委員長名をもって委員会報告書を議長宛てに提出いたします。

ただいま審査いただきました付託議案について、あすの本会議において討論される方は、既に配付しています討論通告書を委員会終了後直ちに議長まで提出をお願いいたします。

委員各位の慎重な審査を賜り、ご協力ありがとうございました。これをもちまして予算特別委員会を閉会することといたします。どうもご苦労さまでございました。

閉 会 午前10時47分

宇治田原町議会委員会条例第26条の規定によりここに署名する。

予算特別委員会委員長 谷 口 整